

行政視察内容報告書

令和 2 年 3 月 30 日

土佐清水市議会議長

永野 裕夫 様

会派名 議会会派 みらい

(提出者) 氏名 谷口 佳保 

下記のとおり報告します。

項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	作田 喜秋 ・ 浅尾 公厚 ・ 武政 健三 ・ 山崎 誠一 ・ 吉村 政朗 ・ 谷口 佳保 <div style="text-align: right;">計 6 人</div>
期 日	令和 2 年 2 月 6 日 から 2 年 2 月 7 日 まで
【概 要】(年月日・場所・内容)	
<hr/> <p>日 程 2月6日(木) 14:00 ~ 16:30 室戸市役所</p> <p style="text-align: right;">産業振興課 中屋課長 濱田補佐</p> <hr/> <p>2月7日(金) 9:00 ~ 11:30 「道の駅 キラメッセ室戸」松澤主任</p> <p style="text-align: right;">「道の駅 とろむ」木屋店長</p> <hr/> <p>内 容</p> <p>ふるさと納税の寄付額12億円超えの室戸市で本市との違いを学ぶ</p> <p>初日は、室戸市役所を訪問し、担当職員3名より実情やこれまでの経験についてお話を聞かせていただいた。</p> <hr/> <p>○目標値を掲げて人員配置</p> <p>目標値は前年度の10%増しで設定。人員配置は実績に応じて配置をしている。</p> <p>○うまくメディアを使って広報</p> <p>テレビ、新聞等に随時情報提供、アプローチをし、広くうまく広報をする。</p> <hr/> <p>本市に足りないものについて意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報力がない ・返礼品にストーリー、付加価値をつけるべき ・土佐清水の魅力に気づくべき <hr/>	

【所 感】

本市には土佐清水ブランドの清水サバ・活気的なスープブロス・長太郎貝等、魅力的な商材がたくさんある。また、現在の商材も室戸市よりも優れている。

しかし、広報力のなさや、日常生活の中で市民も職員も魅力ある商材が当たり前のものになっている。

土佐清水ではサンゴ漁が盛んに行われているのに、返礼品の中に「さんごの加工品」が商材になっていないのがもったいない。

また、本市では新鮮な魚の魚価がとても安いこと、飲食店のメニュー商材が少ないことなどの課題がみえてきた。

室戸市の取り組みでは、新しい商材等ができるのと過去に寄附してくださった方へパンフレット等を送付し、リーピーター増へのアプローチもしっかりされていた。

2日目は、ふるさと納税返礼品を取り扱っている業者「道の駅 キラメッセ室戸」、「道の駅 とろむ」を室戸市職員に案内していただく。

店内では、商品の説明書きや商品名のポップがわかりやすく、見やすく工夫されており、商品がきれいに見える照明等も使用されさまざまな工夫がなされていた。

また、店員一人一人の接客もとてもよく、商品ひとつひとつの説明も詳しくされていた。

2日間の視察を通して、ふるさと納税の寄付額、商材を拡大するには、職員のちょっとした遊び心や、発想の転換、違った目線で本市を見つめることが寄付額増につながるのではないかと考える。

